



令和4年7月16日発行
熊本県立湧心館高等学校

今月のテーマ「夏の災害」

この夏は、地球温暖化による異常気象の影響か、例年に比べ、最短での梅雨明け、そして、6月末からの猛暑日となっています。過去の経験から、このような年は、水不足やそれによる秋口の農作物の生育不良、東日本大震災の以降に耳にする電力需給ひっ迫による節電要請なども想定されます。自分の身の周りの事としてイメージができない人もいるかもしれませんが、今後、予想されうる出来事となるかもしれません。

さて、この時期の災害について考えた時、皆さんに災害について尋ねてみると、大規模な自然災害を思い浮かべる人が多い印象を受けます。しかし、災害は大規模なものだけではなく、自然災害だけでもありません。気候変動による局地的な災害や人為的なことによる災害など様々なものが見られます。ここでは、夏に起きうるであろう5つの災害を以下に記述していますので、確認してもらえればと思います。

【台風】

夏の自然災害として多い出来事は、7月、8月に台風が、日本に接近・上陸し、大雨、洪水、暴風、高潮などをもたらすことです。そして台風による大雨によって、河川の氾濫、浸水、土石流、がけ崩れ、地滑り、などが起こりやすくなります。気象情報で台風の接近を確認した場合には、海岸や河川、ガケなどには近づかないようにしましょう。

また、川の氾濫や土砂災害などの災害は一気に起こるため、市区町村長からの避難勧告等があった場合には、速やかに避難行動をとみましょう。



【ゲリラ豪雨】

夏の自然災害として見落とせないものが、ゲリラ豪雨です。夏によく見られる積乱雲が急激に発生し、局地的な大雨を降らせます。短時間に大雨が降ると、雨水が土壌にしみ込まずに地表面を流れ、一気に河川や下水道、雨水管などに流れ込みます。すると、処理能力を超えた水によって冠水や浸水、アンダーパス（交差する鉄道や道路などの下を通過するため、周辺より低くなっている道路）の水没などが起こります。

急に天気が変わって大雨が降り出したら、河川などから離れる、高台に移動するなどして速やかに避難しましょう。



【夏の猛暑、湿度】

自然災害ではありませんが、今年の日本を含め、近年、世界各地で記録的な猛暑となることがあり、日本でも毎年多くの方が熱中症にかかっています。こまめに水分や適度な塩分を補給しましょう。



また、熱中症は屋外のみではなく、室内にいる時も注意の必要があります。高温で湿度の高い室内では汗が蒸発せず、体温調節ができなくなってしまうためです。もしも屋内にいる時でも、温度や湿度の調節に気を付けましょう。

【海や川などでの水難事故】

自然災害ではありませんが、夏は猛暑が続くなか、家族や友人知人と海や川へ遊びに行く人も多いでしょうが、気をつけたいのが水の事故です。警察庁の統計によると、水難事故の危険は意外なところに潜んでいます。

水難事故の6割が海で、3割が河川で起きています。さらにそのような場面で多い事故が、水泳や水遊びが39%、釣りや魚とりが24%と、一概に「海での」、「遊泳中」とは決めつけられないケースも多く、水に関係する場所では慣れや油断からの発生も多く見られています。



【登山時の遭難等】

自然災害ではありませんが、初心者でも挑戦しやすい夏山登山は人気がありますが、知識不足によるトラブルも起きてやすくなっています。例えば、簡単に登れるからとTシャツや短パンなどの軽装で登山に訪れる人も見られます。夏とはいえ、山によっては頂上付近では真冬並みの気温になることもあることを知らないためです。

また、高度の高い山では高山病にかかる危険もあります。登山に関する知識をしっかりと身につけ、服装や持ち物の準備をする、経験豊富なガイドを付けるなどの対策が必要です。



●様々な防災対策

自然災害の防災対策として、事前に情報を確認することが第一優先となり、様々なHPで確認することもできます。以下に、熊本県での防災で活用できるサイトを一例として以下に掲載しておきますので、お気に入りなどに登録し、出かける際の参考にされておくと良いかもしれません。

○防災情報総合案内-熊本県ホームページ

<https://www.pref.kumamoto.jp/site/bousai-kumamoto/>

○熊本県統合型防災情報ホームページ

<http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/>

○熊本市防災サイト

<https://www.city.kumamoto.jp/bousai/>

○国土交通省「川の防災情報」

<https://www.river.go.jp/>

夏の自然災害は大雨に関することが多いため、気象情報を確認した上で、時には外出を控えるなどで事前に防げることもあります。また、地震や火災と異なり、屋外に避難するのではなく、なるべく高層の建物内に早く避難することも大事と言えます。

過去のぼうさい通信を見ることができます ◎ぼうさい通信(毎月16日発行)

本校HPにアクセスしてみよう。 <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>

くまもとマイタイムライン(デジタル版マイタイムライン)は、

<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/timeline/#/>で作成可能です。